

14. 宇都宮市のみどりについて

(1) みどりの量についての感じ方

◇ 「ちょうどよい」は「a 郊外部のみどり」が6割半ば

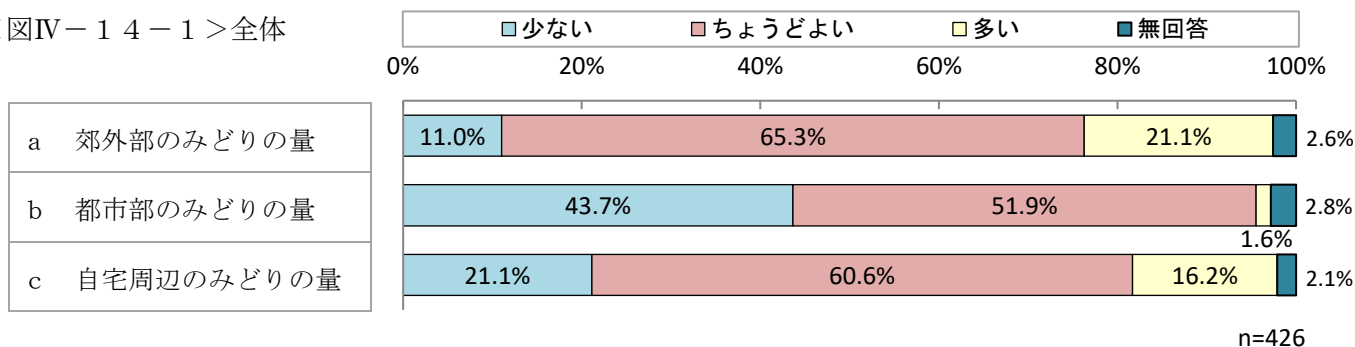
問47 宇都宮市の「a 郊外部のみどり」、「b 都市部のみどり」、「c 自宅周辺のみどり」の量についてそれぞれどのように感じていますか。次の中から当てはまるものを1つお選びください。

(○は1つ)

n=426

a 郊外部のみどりの量		
1	少ない	11.0%
2	ちょうどよい	65.3%
3	多い	21.1%
	(無回答)	2.6%
b 都市部のみどりの量		
1	少ない	43.7%
2	ちょうどよい	51.9%
3	多い	1.6%
	(無回答)	2.8%
c 自宅周辺のみどりの量		
1	少ない	21.1%
2	ちょうどよい	60.6%
3	多い	16.2%
	(無回答)	2.1%

<図IV-14-1>全体



宇都宮市のみどりの量についての感じ方については、「郊外部」「都市部」「自宅周辺」いずれも、『ちょうどよい』が最も多く、「a 郊外部のみどりの量」が65.3%、「b 都市部のみどりの量」が51.9%、「c 自宅周辺のみどりの量」60.6%であった。(図IV-14-1)

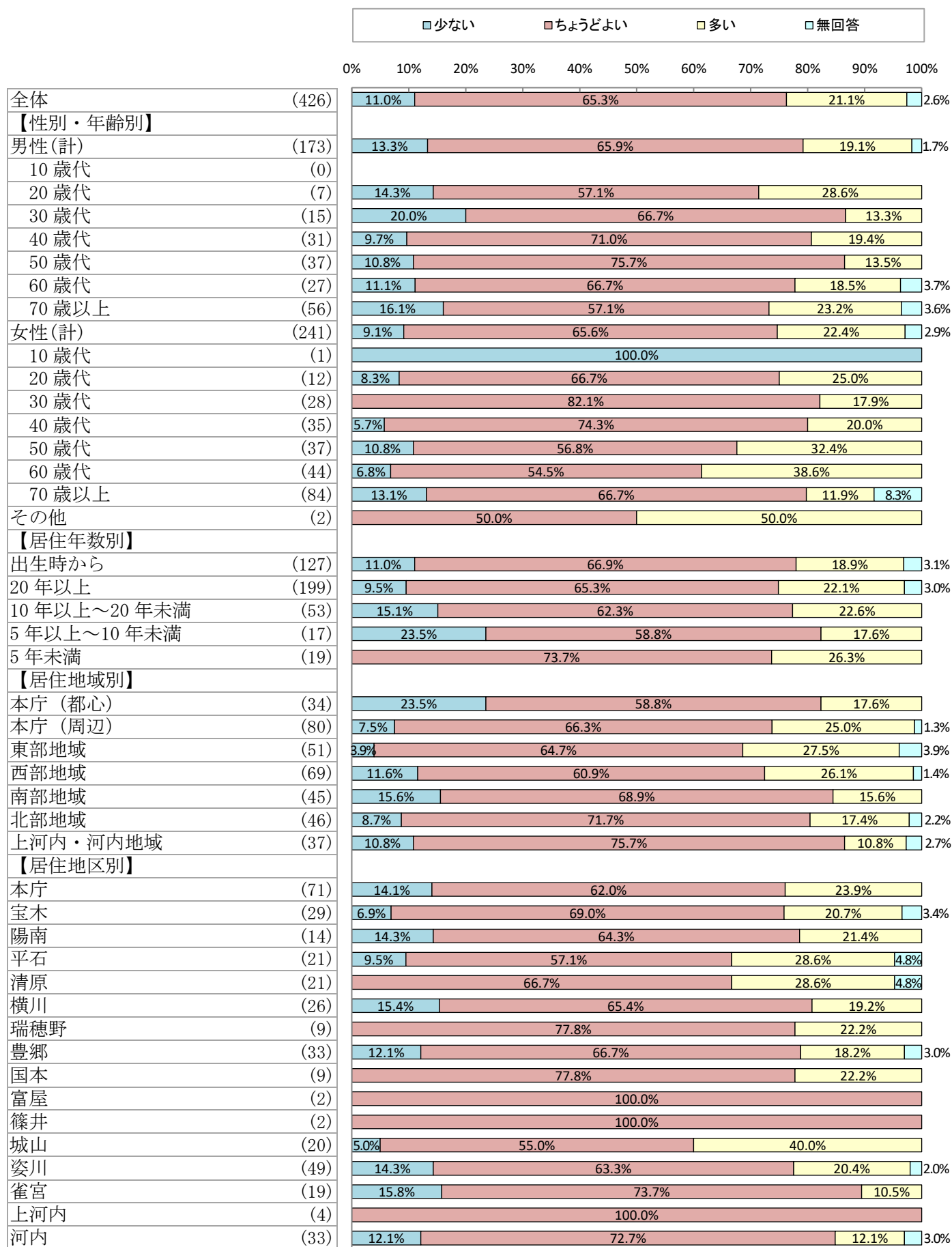
<参考>

性別・年齢別でみると、「a 郊外部のみどりの量」が『ちょうどよい』と感じたのは、<女性/30歳代>が82.1%で最も高く、「b 都市部のみどりの量」が『ちょうどよい』と感じたのは<男性/30歳代>が80.0%で最も高かった。「c 自宅周辺のみどりの量」が『ちょうどよい』と感じたのは<男性/20歳代>が85.7%で最も高かった。(図IV-14-2)

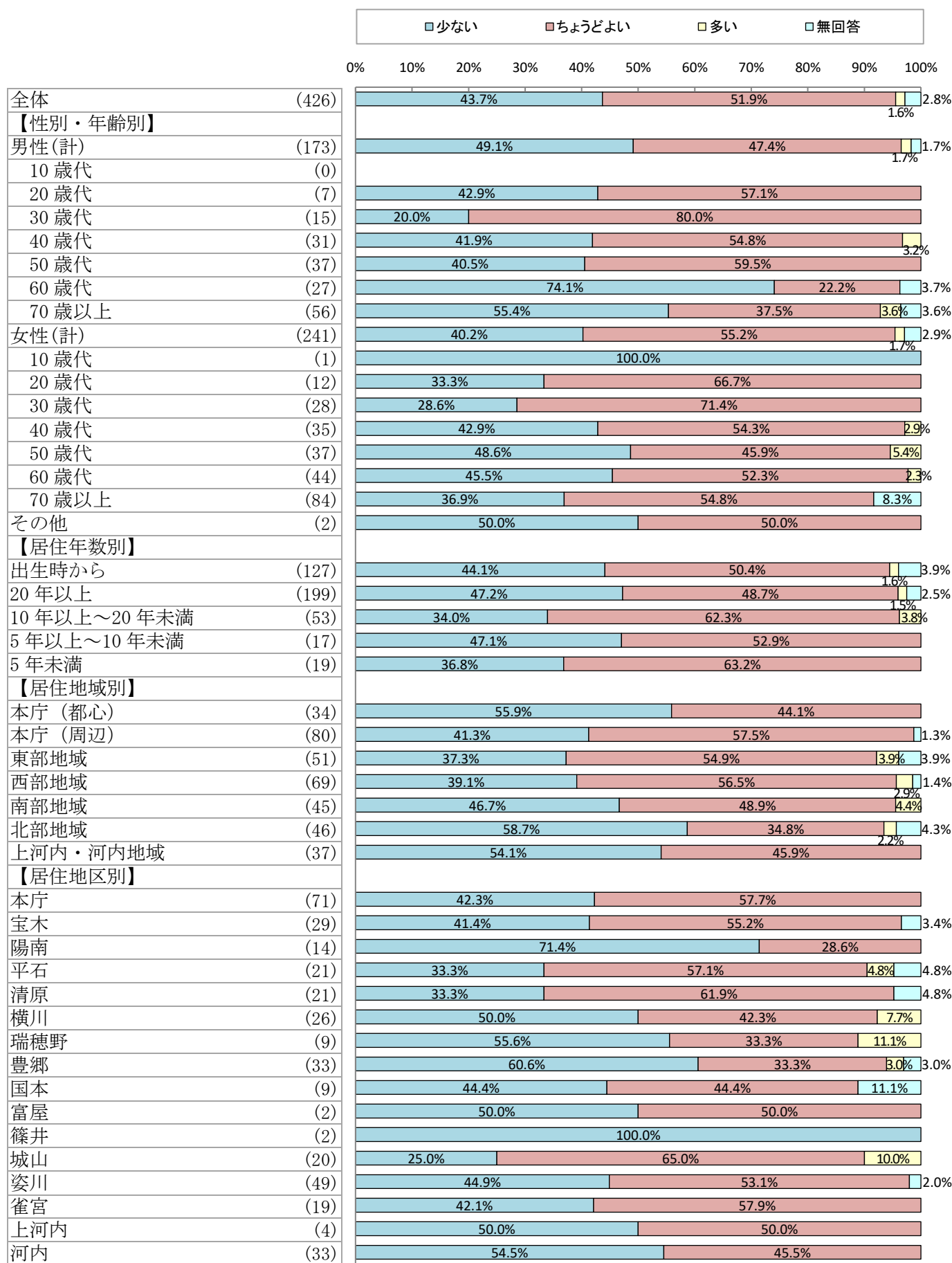
居住年数別でみると、『ちょうどよい』と感じたのは「郊外部」「都市部」「自宅周辺」いずれも5割を超えている。(図IV-14-2~4)

居住地区別でみると、「b 都市部のみどりの量」が『ちょうどよい』と感じたのは<城山>が65.0%で最も高かった。(図IV-14-3)

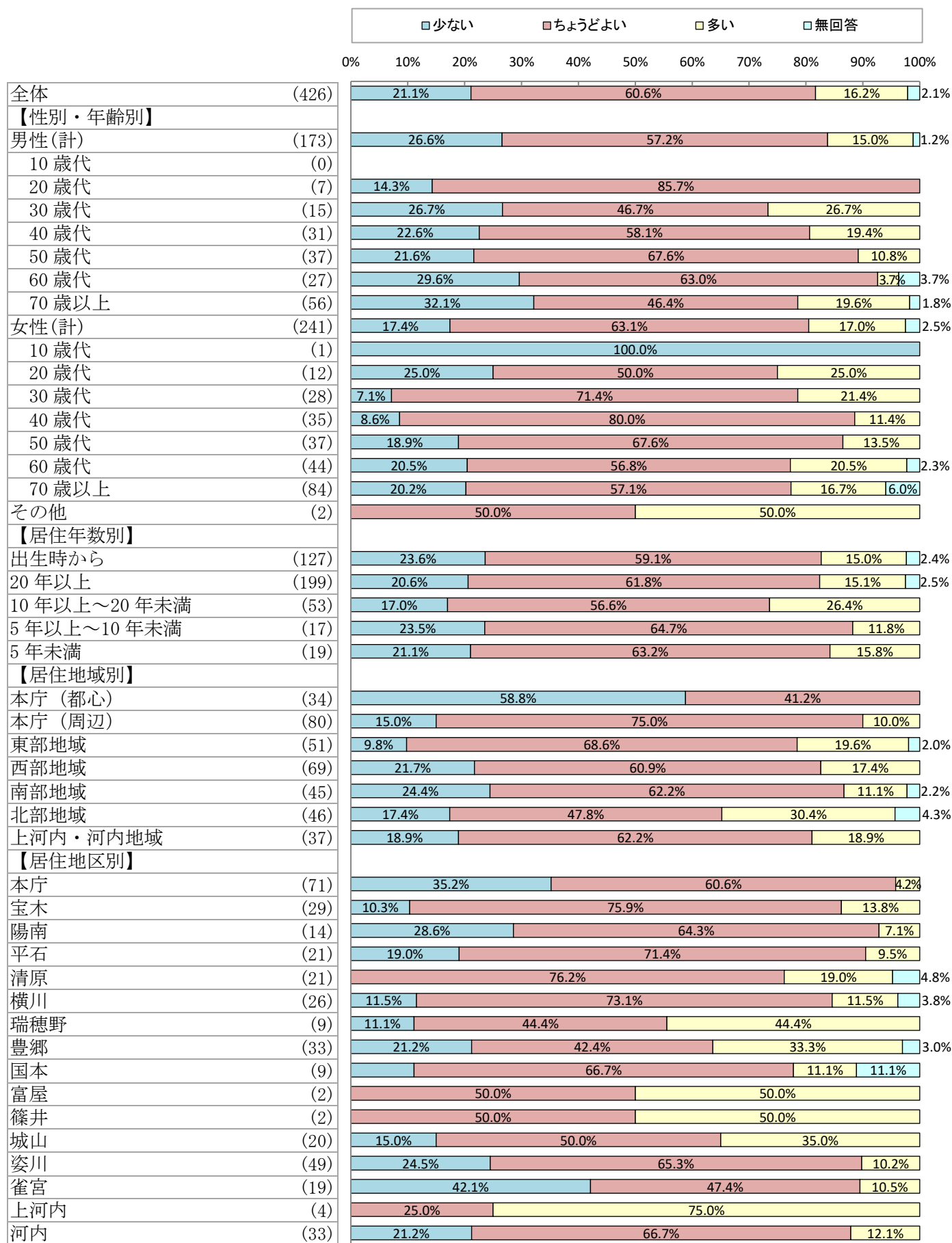
<図IV-14-2>性別・年齢別／居住年数別／居住地域・地区別「郊外部のみどりの量」の関係



<図IV-14-3>性別・年齢別／居住年数別／居住地域・地区別「都市部のみどりの量」の関係



<図IV-14-4>性別・年齢別／居住年数別／居住地域・地区別「自宅周辺のみどりの量」の関係

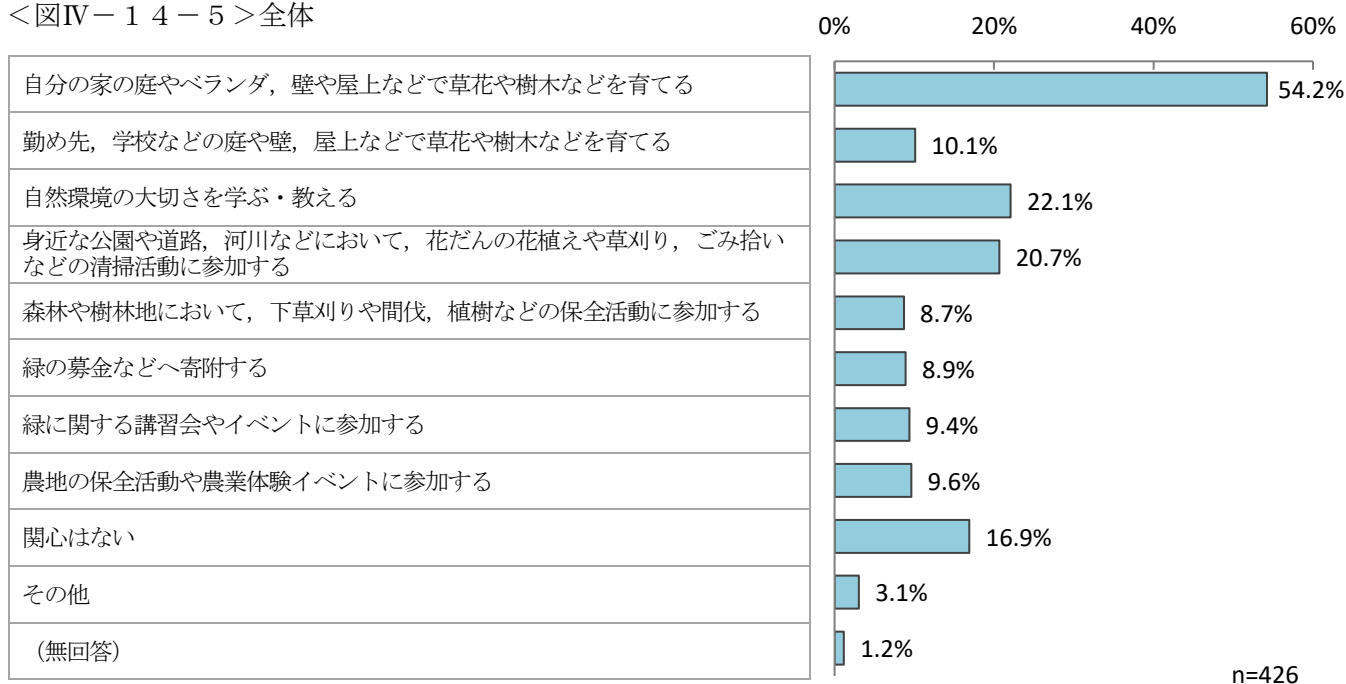


(2) 「みどり」に関することで取り組みたいこと

◇ 「自分の家の庭やベランダ、壁や屋上などで草花や樹木などを育てる」が5割半ば

問 4 8	今後、「みどり」に関することで、どのようなことに取り組んでみたいと思いますか。次の中から当てはまるものをすべてお選びください。 (〇はいくつでも)	n=426
1	自分の家の庭やベランダ、壁や屋上などで草花や樹木などを育てる	54.2%
2	勤め先、学校などの庭や壁、屋上などで草花や樹木などを育てる	10.1%
3	自然環境の大切さを学ぶ・教える	22.1%
4	身近な公園や道路、河川などにおいて、花だんの花植えや草刈り、ごみ拾いなどの清掃活動に参加する	20.7%
5	森林や樹林地において、下草刈りや間伐、植樹などの保全活動に参加する	8.7%
6	緑の募金などへ寄附する	8.9%
7	緑に関する講習会やイベントに参加する	9.4%
8	農地の保全活動や農業体験イベントに参加する	9.6%
9	関心はない	16.9%
10	その他 (無回答)	3.1% 1.2%

<図IV-14-5>全体



「みどり」に関することで、取り組みたいことについては、「自分の家の庭やベランダ、壁や屋上などで草花や樹木などを育てる」が54.2%で最も高く、次いで「自然環境の大切さを学ぶ・教える」が22.1%、「身近な公園や道路、河川などにおいて、花だんの花植えや草刈り、ごみ拾いなどの清掃活動に参加する」が20.7%と続いている。(図IV-14-5)

<参考>

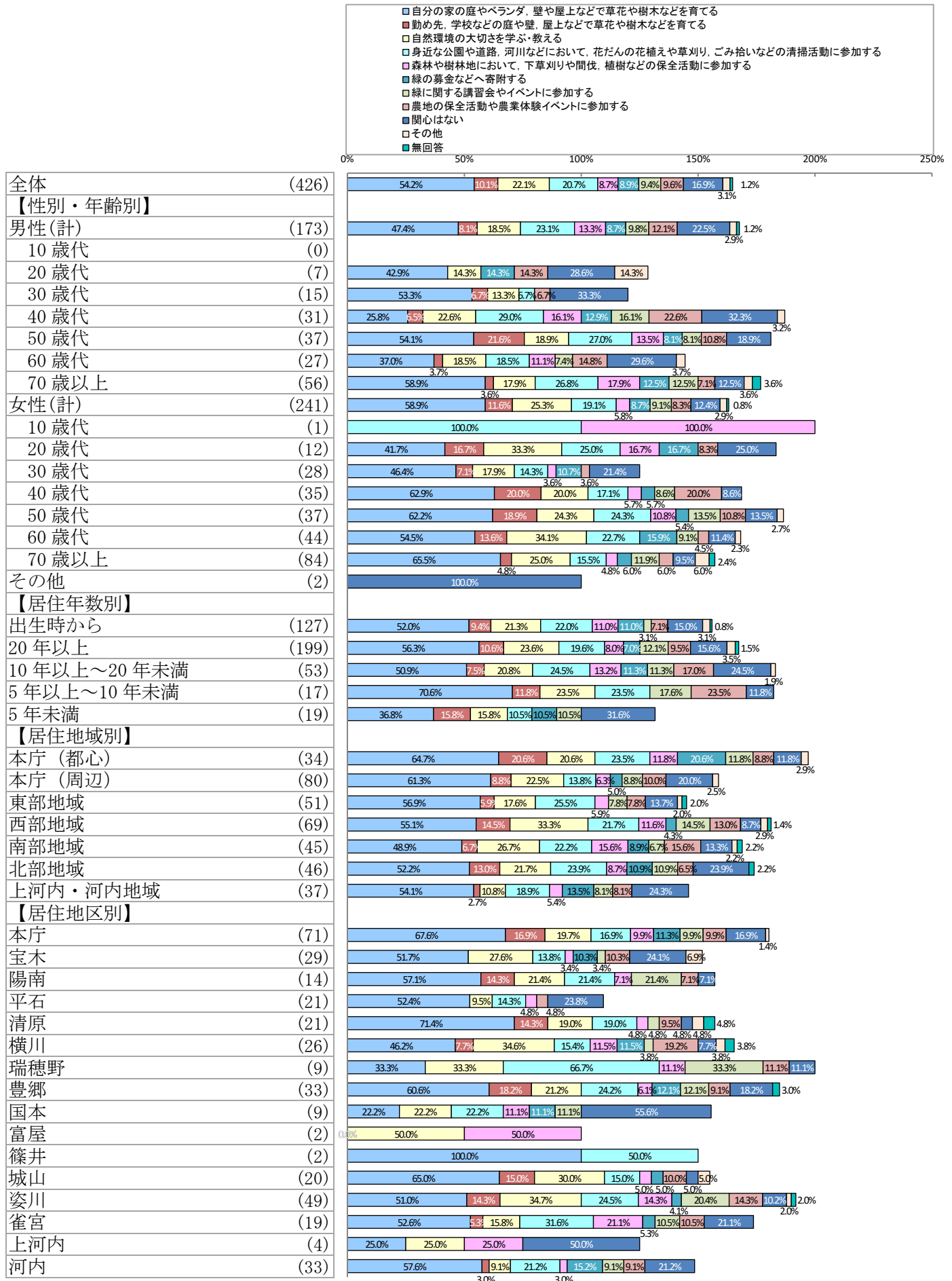
性別・年齢別でみると、「自分の家の庭やベランダ、壁や屋上などで草花や樹木などを育てる」は<女性/70歳以上>が65.5%で最も高かった。(図IV-14-6)

居住年数別でみると、「自分の家の庭やベランダ、壁や屋上などで草花や樹木などを育てる」は<5年以上~10年未満>が70.6%で最も高かった。(図IV-14-6)

居住地域別でみると、「自分の家の庭やベランダ、壁や屋上などで草花や樹木などを育てる」は<本庁(都心)>が64.7%で最も高く、次いで<本庁(周辺)>が61.3%であった。(図IV-14-6)

居住地区別でみると、「自分の家の庭やベランダ、壁や屋上などで草花や樹木などを育てる」は回答者の少ない<篠井>を除くと<清原>が71.4%で最も高かった。(図IV-14-6)

<図IV-14-6>性別・年齢別／居住年数別／居住地域・地区別

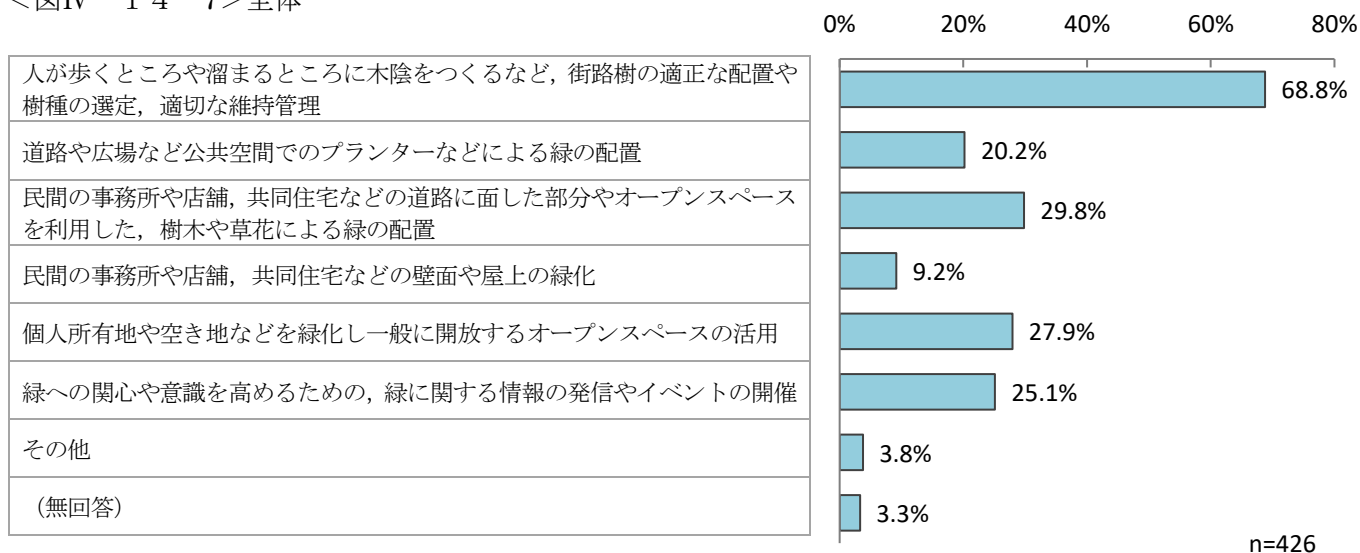


(3) 「みどり」を増やすために必要な取組

◇ 「人が歩くところや溜まるところに木陰をつくるなど、街路樹の適正な配置や樹種の選定、適切な維持管理」が約7割

問 4 9	本市の顔となる中心市街地において、人の目に映る「みどり」を増やすためには、どのような取組が必要だと思いますか。 (〇はいくつでも)	n=426
1	人が歩くところや溜まるところに木陰をつくるなど、街路樹の適正な配置や樹種の選定、適切な維持管理	68.8%
2	道路や広場など公共空間でのプランターなどによる緑の配置	20.2%
3	民間の事務所や店舗、共同住宅などの道路に面した部分やオープンスペースを利用	29.8%
4	民間の事務所や店舗、共同住宅などの壁面や屋上の緑化	9.2%
5	個人所有地や空き地などを緑化し一般に開放するオープンスペースの活用	27.9%
6	緑への関心や意識を高めるための、緑に関する情報の発信やイベントの開催	25.1%
7	その他	3.8%
	(無回答)	3.3%

<図IV-14-7>全体



「みどり」を増やすために必要な取組については、「人が歩くところや溜まるところに木陰をつくるなど、街路樹の適正な配置や樹種の選定、適切な維持管理」が68.8%で最も高く、次いで「民間の事務所や店舗、共同住宅などの道路に面した部分やオープンスペースを利用した、樹木や草花による緑の配置」が29.8%、「個人所有地や空き地などを緑化し一般に開放するオープンスペースの活用」が27.9%と続いている。
(図IV-14-7)

<参考>

性別・年齢別でみると、「人が歩くところや溜まるところに木陰をつくるなど、街路樹の適正な配置や樹種の選定、適切な維持管理」は<女性/40歳代>が82.9%で最も高かった。(図IV-14-8)

居住年数別でみると、「人が歩くところや溜まるところに木陰をつくるなど、街路樹の適正な配置や樹種の選定、適切な維持管理」は<5年以上~10年未満>が94.1%で最も高かった。

居住地域別でみると、「人が歩くところや溜まるところに木陰をつくるなど、街路樹の適正な配置や樹種の選定、適切な維持管理」は<本庁(都心)>が79.4%で最も高かった。(図IV-14-8)

居住地区別でみると、「人が歩くところや溜まるところに木陰をつくるなど、街路樹の適正な配置や樹種の選定、適切な維持管理」は回答数の少ない<富屋><篠井>を除くと、<本庁>が76.1%で最も高かった。(図IV-14-8)

<図IV-14-8>性別・年齢別／居住年数別／居住地域・地区別

- 人が歩くところや溜まるところに木陰をつくるなど、街路樹の適正な配置や樹種の選定、適切な維持管理
- 道路や広場など公共空間でのプランターなどによる緑の配置
- 民間の事務所や店舗、共同住宅などの道路に面した部分やオープンスペースを利用した、樹木や草花による緑の配置
- 民間の事務所や店舗、共同住宅などの壁面や屋上の緑化
- 個人所有地や空き地などを緑化し一般に開放するオープンスペースの活用
- 緑への関心や意識を高めるための、緑に関する情報の発信やイベントの開催
- その他
- 無回答

